

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成25年6月4日 NO.11

6月3日(月)の朝会より

言葉は、人と人の心をつなぐものです。今日は、人と人がかわす言葉について考えてみたいと思います。今日は、3人の先生に子ども役をやらせてもらって、お話のお手伝いをしてもらいます。

(クラスの子どもが担任の先生に話しかける場面)

◇その1 Y 先生「先生、ごみ！」

校長 「先生はごみなんかではありません。人間です。それを言うのだったら、『先生、このゴミはどこに捨てたらいいのでしょうか』でしょう？」

◇その2 O 先生「先生、トイレ！」

校長 「おや、また……。先生はトイレではありません。それを言うのだったら、『先生、トイレに行きたくなかったのですが、行ってもいいですか』でしょ。

◇その3 N 先生「先生、気持ち悪い……」

校長 「ええ、失礼だよ。そりゃ、先生はあなたのお父さんのようにかっこいいとは言えないけれど、『気持ち悪い』とはあんまりだよ。それを言うんだったら、なんて言ったらいいのでしょうか？」

N 先生「先生、気分がすぐれないんですけど、保健室に行ってもいいのでしょうか？」

校長 「そうだね。正しくはそう言うんだよね。こんな言葉を省いた言葉を使ってはいけないね。人と人がかわす言葉には、それぞれ相手に対する心遣いが必要です。こんな言葉を使っていると、相手の感じ方次第で、相手の人をいやな気持ちにさせます。みなさんも気をつけましょうね。」

それでは、最後にもう一つおまけ、

3人の先生「先生、かっこいい」

校長 「ありがとう！うれしいね。そんなにかっこいいですか。」

3人先生「いや、先生、ごめんなさい。先生のうしろでサッカーのリフティングをしているI先生がかっこいい、と言いたかったのです。」

校長 「しょぼん……」 これで校長先生のお話を終わります。

農業体験……その後の様子

5月上旬に植えたトマト・キュウリ・トウモロコシ・サツマイモ・カボチャ・スイカなどが、日に日に大きく育っています。キュウリ・トマト・トウモロコシはビニルの覆いも取り去りました。キュウリとトマトは無駄な枝を取る作業や、支柱に固定させる作業も進めています。また、トウモロコシは、雑草を少しずつとっているところです。

これらの作業は、6年生から順番に行っていますがどの子もみんなとても一生懸命にやっていて、心から感心しています。さらに大きく成長し、皆で収穫できる日を楽しみにしています。なお、子ども達から応募していた農園の名前が決定しました。

名前は『七小わくわくドキドキ農園』です。くわしくは昨日の「国立てくてく18号」を見て下さい。



もっともっと大きくぞだて!